

平成26年6月12日

四国地方整備局

土佐国道事務所

国土交通省 河ノ瀬交差点で通学路の安全対策を実施！
～国道56号 高知市 河ノ瀬交差点～

横断歩道を横断する歩行者と自転車の7割以上の方が安心を感じています！

平成26年2月に国道56号河ノ瀬交差点（高知市河ノ瀬町）において実施した交通安全対策について、利用者にアンケート調査を行いましたのでお知らせします。

- 歩行者・自転車利用者が安心を実感
『横断歩行者・自転車感知式注意喚起システム』を導入した結果、歩行者・自転車利用者の約7割の方から安心を感じるとの回答がありました。
- ドライバーが以前より歩行者・自転車利用者を意識
自動車利用者の約8割の方から、以前より歩行者・自転車利用者の安全確認をするようになったとの回答がありました。
- 横断歩道に進入する右折車の速度が低下
横断歩道手前での右折車の速度が約3km（15%）低下しました。

国道56号 河ノ瀬交差点は、平成24年度に実施された「通学路の緊急合同点検」で「道路幅が広く横断が危険。通行量・右左折車が多い。」との指摘がなされた箇所、平成25年度において、歩行者・自転車と右左折車の巻き込み事故等の対策を実施しました。（別紙-1参照）

今回、横断歩行者・自転車感知式注意喚起システムの導入によって、対策効果が確認されました。（別紙-2, 3参照）

今後も引き続き、当該交差点の交通安全対策の整備効果を確認してまいります。

■通学路の緊急合同点検

登下校中の児童等の列に自動車が入り込み、死傷者が発生する痛ましい事故が相次いでおります。これを受け、文部科学省、警察庁、国土交通省の3省庁が連携し、また各地域の学校、教育委員会、都道府県及び市町村など関係機関が協働して、通学路の安全点検や安全確保を図る取り組みを全国的に行うこととなりました。

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】（○主な問い合わせ先）

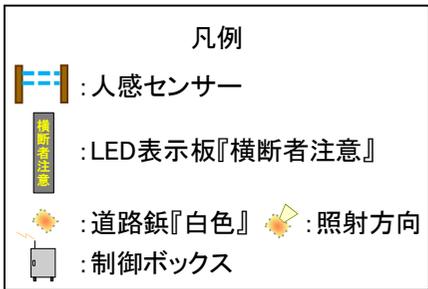
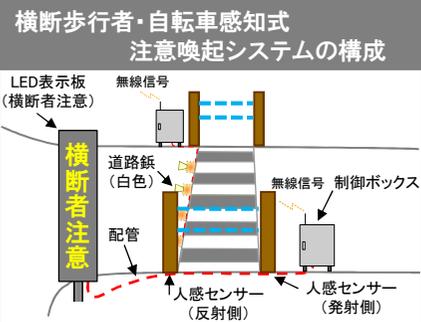
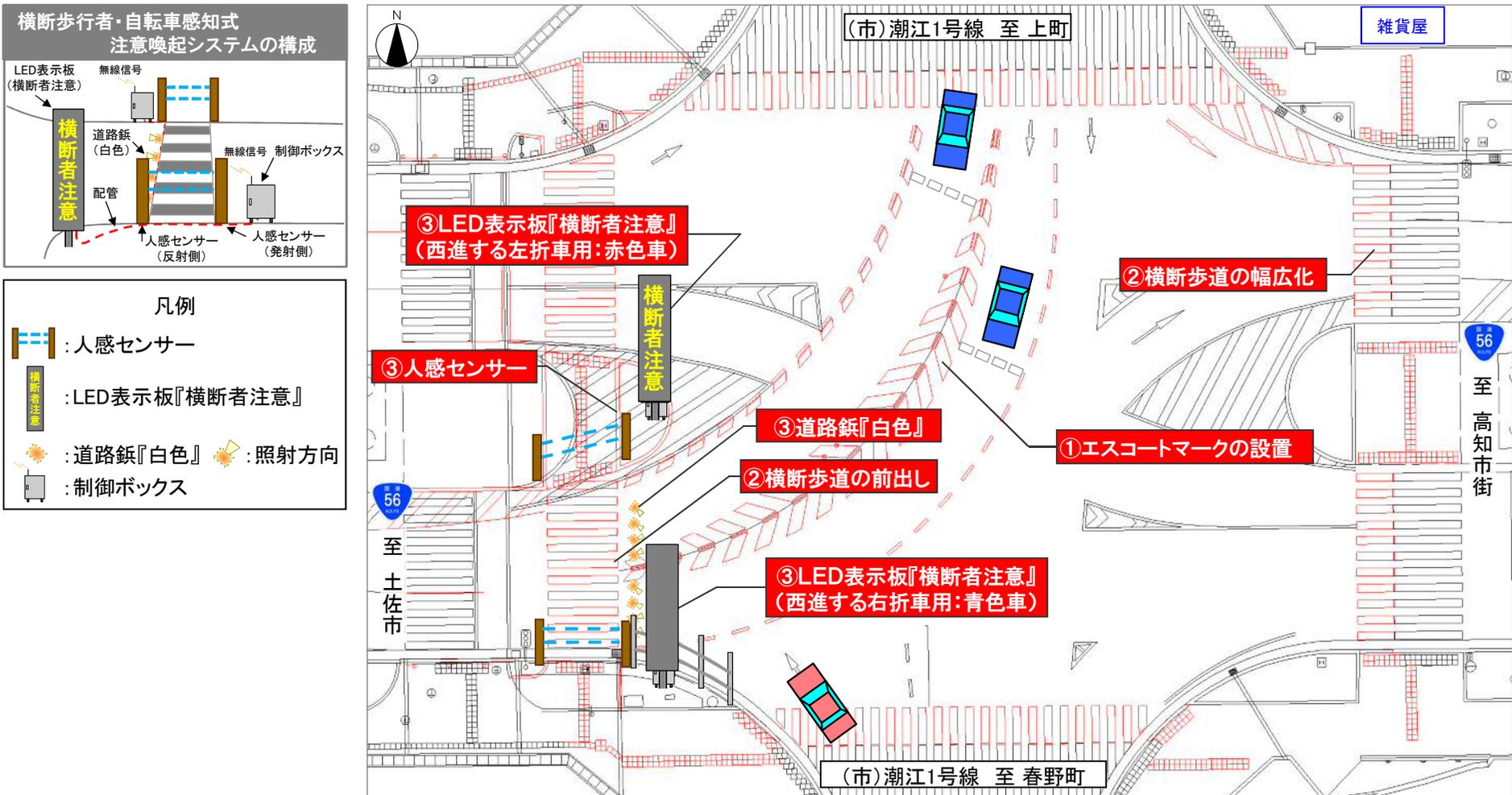
国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所	電話（代表）	088-884-0359
副所長（管理） 宮武 敏男	（内線）	205
○管理第二課長 吉川 誠一	（内線）	441
高知国道維持出張所	電話（代表）	088-843-6603
出張所長 宇川 義信	（内線）	6121
高知県高知南警察署 交通課		
交通課長 亀岡 有	電話（代表）	088-843-0110

国道56号 河ノ瀬交差点における事故対策

別紙-1

事故類型	事故対策の考え方	事故対策
右折時事故 (右折車 × 対向直進車)	・右折車の走行位置を明確にする。	① エスコートマークの設置
右左折時事故対策 (右左折車 × 歩行者・自転車)	・右左折車の速度抑制を図る。 ・横断歩行者・自転車に対する注意を喚起する。	② 横断歩道の前出し、横断歩道の幅広化 ③ 横断歩行者・自転車感知式注意喚起システムの導入

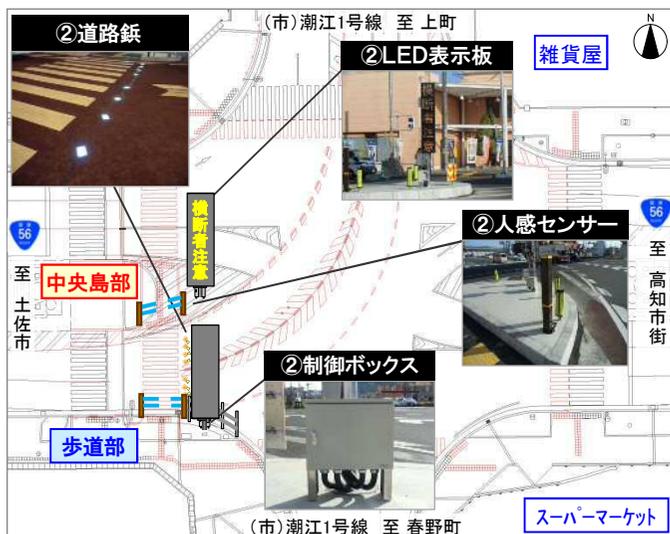
▼河ノ瀬交差点における事故対策イメージ図



事故対策の効果：横断歩行者・自転車感知式注意喚起システム

- ・約8割のドライバーが以前より歩行者・自転車を安全確認するようになった。
- ・また、歩行者・自転車の約7割は道路鉞の設置により安心を感じ、約8割はLED表示板の設置により安心を感じるようになった。

横断歩行者・自転車感知式注意喚起システムの配置図



▼横断歩行者・自転車感知式注意喚起システムの設置状況(H26.2.25)



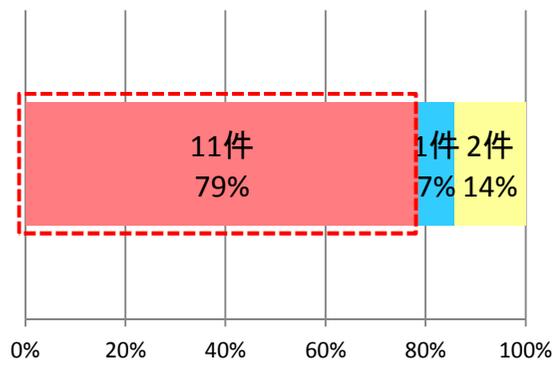
<横断歩行者・自転車感知式注意喚起システムの設置の効果：アンケート調査>

■ドライバーアンケート調査結果

<安全確認行動の変化>

- : 以前より歩行者・自転車を安全確認するようになった
- : 変わらない
- : 以前より歩行者・自転車を安全確認しなくなった

約8割のドライバーが以前より、歩行者・自転車を安全確認するようになった



システムの点滅を確認したドライバー(N=14)

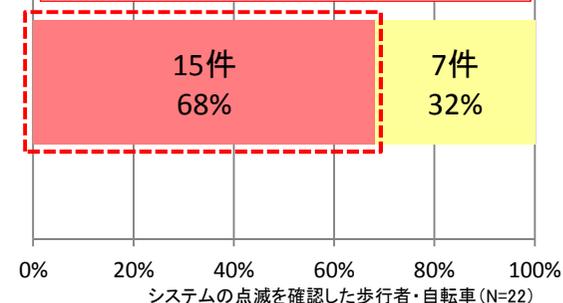
出典): ドライバーアンケート調査結果(H26.3)

■歩行者・自転車アンケート調査結果

<道路鉞による安心感>

- : 安心を感じる
- : どちらともいえない
- : 不安を感じる

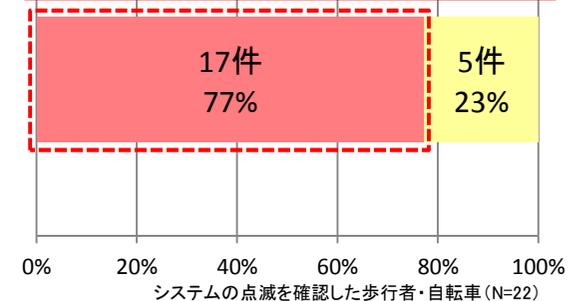
約7割の歩行者・自転車が道路鉞の設置より安心を感じるようになった。



<LED表示板による安心感>

- : 安心を感じる
- : どちらともいえない
- : 不安を感じる

約8割の歩行者・自転車がLED表示板の設置より安心を感じるようになった。



出典): 歩行者・自転車アンケート調査結果(H26.2)

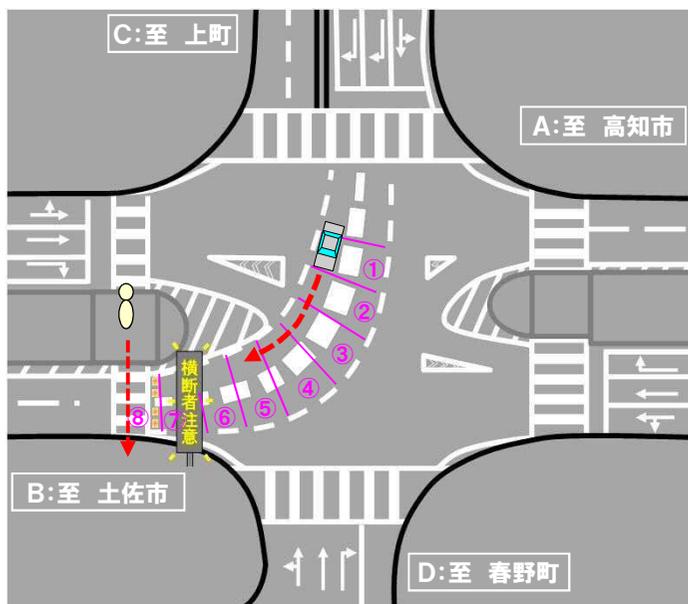
事故対策の効果：横断歩行者・自転車感知式注意喚起システム

別紙-3

・右折車は交差点進入後にLED表示板および道路鏡を確認し、右折開始時の速度が2.6km/h低下し、さらに、横断歩道手前で速度が3.0km/h低下した。

〈横断歩行者・自転車感知式注意喚起システムの設置の効果〉(ビデオ調査結果：北から西への右折車の速度の変化)

[対策前と対策後の右折車の速度の変化]



《分析条件》

〈対象日〉
 システム設置前：H26.2.23(日)、システム設置後：H26.2.25(火)
 〈対象時間〉事故が多い時間帯：17:00～18:00
 〈対象〉西側横断歩道を歩行者・自転車が横断した時に通過した右折車
 〈分析項目〉5m区間毎の右折車の速度

